

楽²ライブラリ パーソナル スタートアップガイド

- このスタートアップガイドは、楽²ライブラリのインストール方法、基本的な操作方法について説明しています。
- 楽²ライブラリの応用的な機能について知りたいときは、ヘルプまたは「ユーザーズガイド」を参照してください。

楽²ライブラリのエクスポート機能によって生成された「ビューア付きデータファイル (*.exe)」は、個人的な範囲を超える使用目的で、無断で複製・転用、およびネットワークを通じて配信することは禁止されています。

はじめに

このたびは、「楽²ライブラリ パーソナル」(らくらくらいぶらり ぱーそなる)をご購入いただき、誠にありがとうございます。

楽²ライブラリは、書類データの管理や閲覧をコンピュータ上で行うためのソフトウェアです。

本書が楽²ライブラリを活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

2009年1月 初版

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の商品名、会社名は、一般に各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。



本製品は株式会社 PFU のビューア技術「EasyFlip」を搭載しています。

All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED 2004 -2009

本書での OS の略記について

本書では、以下のように用語を省略して表記しています。

Windows 2000 Professional

Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版

Windows XP

Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 (32 ビット版)

Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版

Windows Vista

Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system 日本語版
(32 ビット版、64 ビット版)

Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system 日本語版
(32 ビット版、64 ビット版)

Microsoft® Windows Vista® Business operating system 日本語版
(32 ビット版、64 ビット版)

Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system 日本語版
(32 ビット版、64 ビット版)

Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system 日本語版
(32 ビット版、64 ビット版)

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

本書で使用している用語について

- 本書では、「楽²ライブラリ パーソナル」を「楽²ライブラリ」と表記しています。
- 本書では、「楽²ビューア」を「ビューア画面」と表記しています。
- 本書では、「Microsoft® Word」を「Word」と表記しています。

本書の画面について

本書では、画面に表示される他社アイコンをモザイク処理してあります。

インストールする ①

インストールは、楽²ライブラリのインストールと、楽²ビューア（ビューア画面）のインストールの2ステップあります。

楽²ライブラリをインストールしたあと、続けて、楽²ビューアをインストールします。



- インストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。
- 旧版の楽²ライブラリをお使いのお客は、インストールする前に、旧版をアンインストールする必要があります。詳細は、「ユーザーズガイド」を参照してください。
- パージョンアップするとき、旧版の「楽²ライブラリ 連携ソフトウェア」がインストールされている場合は、旧版の「楽²ライブラリ 連携ソフトウェア」をアンインストールしてから行ってください。



1. 製品 CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

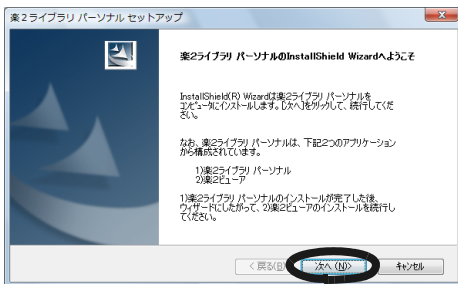


⇒ セットアップ画面が表示されます。

2. [インストール] ボタンをクリックします。

⇒ インストールを開始する画面が表示されます。

3. [次へ] ボタンをクリックします。

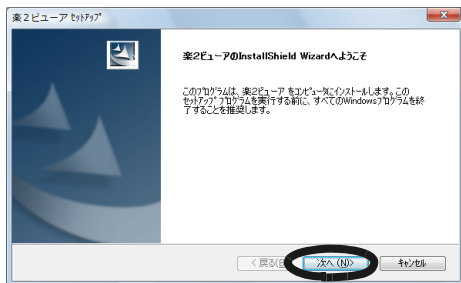


4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

⇒ 楽²ビューアのインストールを開始する画面が表示されます。

インストールする ②

5. [次へ] ボタンをクリックします。



6. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



途中、「使用許諾」の画面が表示されます。

シリアル番号シートに記載されているシリアル番号を入力してください。

7. [完了] ボタンをクリックします。

これで、インストールは完了です。

.....

 インストールが完了すると、デスクトップ上に、楽²ライブラリのプログラムアイコン () が作成されます。

.....

楽²ライブラリは、インストール後、40日間はライセンス認証をしなくてもご利用できます。

楽²ライブラリ パーソナルを継続してご利用いただくためには、ライセンス認証の手続きを行う必要があります。

ライセンス認証の手続きは、製品インストール後40日以内に行ってください。


スタートメニューから[プログラム] - [楽²ライブラリ パーソナル] - [ライセンス認証]を選択すると、ライセンス認証のための画面が表示されます。

楽²ライブラリを起動する

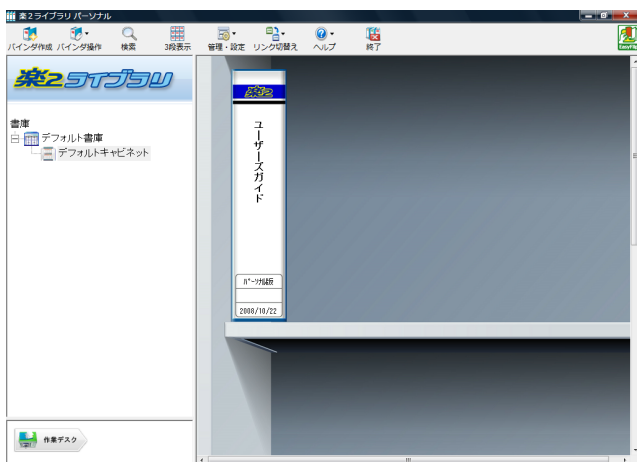
楽²ライブラリを起動します。



1. デスクトップ上に作成された楽²ライブラリのプログラム

アイコン () をダブルクリックします。

⇒ 楽²ライブラリの画面 (バインダ管理画面) が表示されます。



データの入れ物を準備する ①

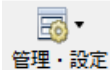
楽²ライブラリを使うには、まず、データを管理するための入れ物（「書庫」「キャビネット」「バインダ」）を作成する必要があります。書庫の中にキャビネットを作成し、キャビネットの中にバインダを作成します。

- 書庫は最大 6 個作成できます。
- 1 つの書庫の中に、最大 20 個のキャビネットを作成できます。
- 1 つのキャビネットの中に最大 21 個のバインダを作成できます。
- 1 個のバインダで最大 1000 ページ管理できます。
- 書庫、キャビネット、バインダには、それぞれ任意の名前を設定できます。

書庫を作成する

キャビネットを管理するための書庫を作成します。

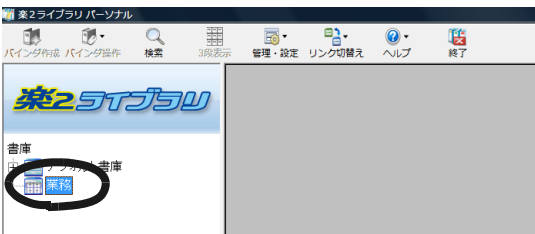


1.  **管理・設定** をクリックし、**[書庫管理]** を選択します。または、ツリーの書庫上でマウスを右クリックし、**[書庫の作成]** を選択します。
⇒ [書庫管理] ダイアログボックスが表示されます。

2. 作成する書庫の名前を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。



3. **[追加]** ボタンをクリックします。
⇒ 書庫が作成されます。



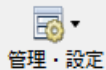
次に、作成した書庫の中に、キャビネットを作成しましょう！

データの入れ物を準備する ②

キャビネットを作成する

1 で作成した書庫の中に、キャビネットを作成します。

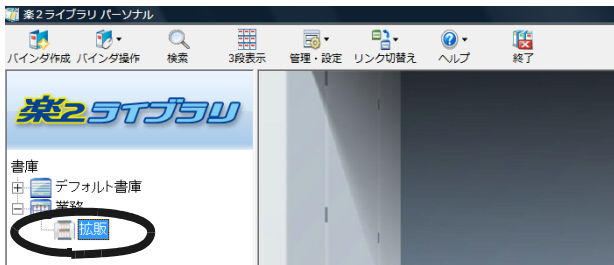


1.  をクリックし、[キャビネット管理] を選択します。
または、ツリーの書庫上でマウスを右クリックし、
[キャビネットの作成] を選択します。
⇒ [キャビネット管理] ダイアログボックスが表示されます。

2. キャビネットの名前を全角 16 文字（半角 32 文字）以内で
入力します。



3. [追加] ボタンをクリックします。
⇒ 書庫にキャビネットが作成されます。



次に、作成したキャビネットの中に、パインダを作成しましょう！

データの入れ物を準備する ③

バインダを作成する

2 で作成したキャビネットの中に、バインダを作成します。



1. **バインダ作成** をクリックします。

⇒ [バインダの編集] ダイアログボックスが表示されます。

2. 各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

ここでは、以下のような情報を設定してみます。

バインダの編集

背景紙 | 属性 |

バインダの種類: 通常バインダ 名刺バインダ

タイトル: (1列目)

フォント: MS ゴシック 12Pt.

(2列目)

フォント: MS ゴシック 12Pt.

タイトルを表示しない 管理情報を表示しない

管理情報

上段:

中段:

下段(日付):

ラベル色:

ラベル文字:

バインダの背景紙にイメージを追加

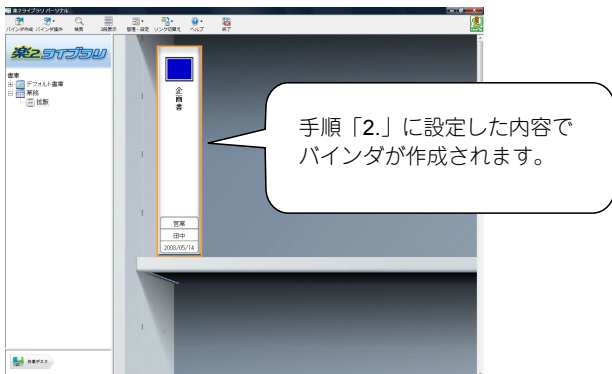
位置: ラベル上 タイトル上端 タイトル下端 全体

イメージファイル:

プレビュー

⇒ キャビネットに、バインダが作成されます。

データの入れ物を準備する 4



これで、データを格納するためのバインダが準備できました。

次に、作成したバインダの中にデータを格納してみましょう。

- Word のデータを取り込む場合は、「Word のデータを取り込む」(12 ページ)に進んでください。
- PDF のデータを取り込む場合は、「PDF のデータを取り込む」(13 ページ)に進んでください。
- ScanSnap で原稿をスキャンして読み取る場合は、「ScanSnap から原稿を読み取る」(14 ページ)に進んでください。




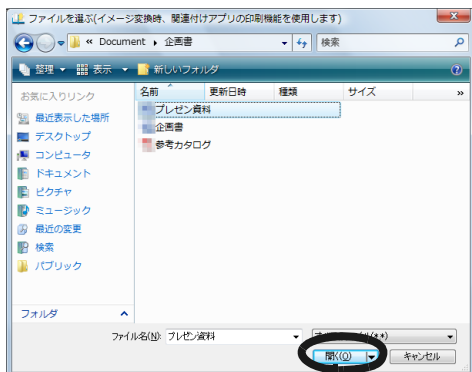
ScanSnap 以外の TWAIN 対応のスキャナ（他社のスキャナなど）で原稿をスキャンして読み取る場合については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

Word のデータを取り込む

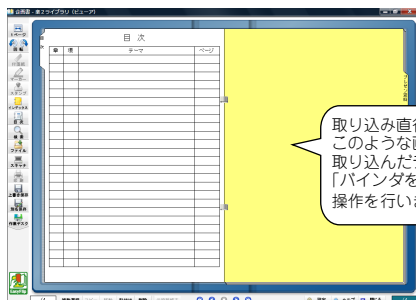
コンピュータ上のフォルダからファイルを取り込んで、バインダに追加します。



1. 11 ページで作成したバインダ（企画書）をダブルクリックして、ビューア画面を表示します。
2. ビューア画面の  をクリックします。
⇒ [ファイルを選ぶ] ダイアログボックスが表示されます。
3. 取り込む Word データを指定して、[開く] ボタンをクリックします。



⇒ 取り込んだ Word データがバインダに追加されます。



続けて別の Word データを取り込む場合、ファイルを取り込みたいページを表示して、手順「2.」～「3.」を繰り返します。

この場合、現在表示されているページの前にデータが取り込まれます。

ScanSnap から原稿を読み取る ①

ScanSnap (S300、S1500、S510、S500、fi-5110EOX、fi-5110EOX2、fi-5110EOX3) を使用して原稿を読み取って、バインダに追加します。




楽²ライブラリと ScanSnap を連携する

ScanSnap で原稿を読み取る場合、まず、楽²ライブラリと ScanSnap を連携するための準備が必要になります。

この操作は、一度行えば、次回以降は不要です。

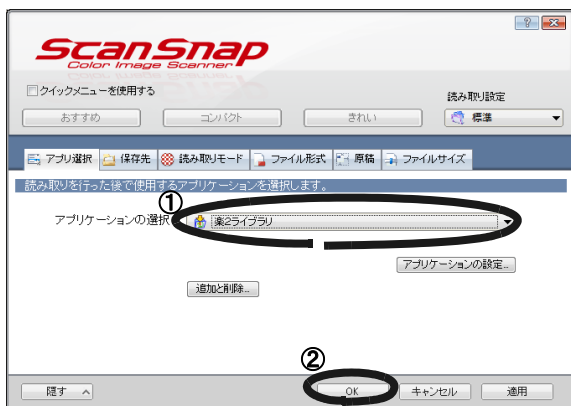


ScanSnap S300、ScanSnap S1500、または ScanSnap S510 をお使いの場合はまず以下の手順を行ってください。

1. タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコン ( または ) をダブルクリック (S1500 以外の場合は右クリック) し、「クイックメニューを使用する」(または「クイックメニューを使用」) の左側に付いているチェックを外します。
2. S1500 以外の場合、タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコン () を右クリックし、「スキャンボタンの設定」を選択します。



1. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」で、「楽²ライブラリ」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



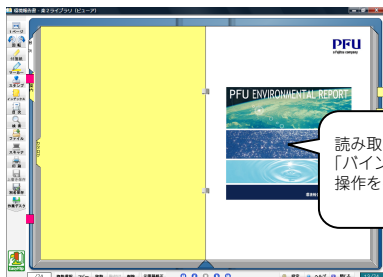
次に、読み取り操作を行います。

ScanSnap から原稿を読み取る ②

読み取り操作を行う



1. 11 ページで作成したバインダ（企画書）をダブルクリックして、ビューア画面を表示します。
2. ScanSnap に原稿をセットします。
3. ビューア画面が最前面に表示された状態で、ScanSnap の読み取りボタンを押します。
⇒ 読み取りが実行され、原稿がバインダに追加されます。




続けて別の原稿をスキャンする場合、スキャンしたデータを取り込みたいページを表示して、手順「2.」～手順「3.」を繰り返します。
この場合、現在表示されているページの前にデータが追加されます。

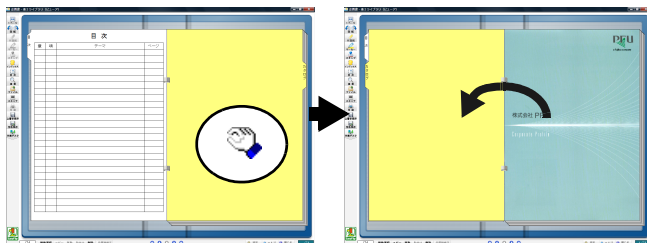
バイндаを閲覧する



バイндаに格納したデータを閲覧します。



1. ページの左端または右端にマウスポインタを移動し、マウスポインタがになったときにクリックします。

⇒ ページがめくられます。



 または  をクリックすることでもページをめくることができます。また、連続して自動でページをめくることができます。

詳細は「ユーザズガイド」を参照してください。

次のステップに進みましょう！

楽²ライブラリを終了する

楽²ライブラリを終了します。



1. ビューア画面の  をクリックします。

⇒ バインダ管理画面に戻ります。

2. バインダ管理画面の  をクリックします。

⇒ 楽²ライブラリが終了します。

これで、楽²ライブラリの基本操作は終了です！

楽²ライブラリでは、ここで紹介したもの以外にも、便利な機能がたくさんあります。

詳細は「ユーザーズガイド」またはヘルプを参照してください。

困ったときには ①

楽²ライブラリの操作中に起こる主なトラブルとその対処方法について説明します。他のトラブルについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

楽²ビューア（ビューア画面）をインストールしたときに、「ドライバのインストールに失敗しました。」のメッセージが表示される。
また、画像形式以外のファイル取り込みができない。

以下の手順で「Raku2 ImageWriter」をインストールしてください
（オペレーティングシステムによって、ボタン名や選択項目名が異なります）。

1. コンピュータを再起動します。
2. [スタート]メニューから[コントロールパネル]—[プリンタとFAX]を選択し、[プリンタの追加]をクリックします。
プリンタの追加ウィザード画面が表示されます。
3. 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
4. 「プリンタポートの選択」の画面で「次のポートを使用」を選択し、ポートのリストから「LPT1：（推奨プリンタポート）」または「Raku2Port」を選択します。
5. [次へ]ボタンをクリックします。
6. 「プリンタソフトウェアのインストール」の画面で、[ディスクを使用]ボタンをクリックし、**CD-ROM**ドライブの以下のファイルを選択します。
 - Windows XP または Windows 2000 の場合
RkImageWriter¥ForWin2000Xp¥RkImageWriter2k.inf
 - Windows Vista（32ビット版）の場合
RkImageWriter¥ForVista¥RkImageWriter2k.inf
 - Windows Vista（64ビット版）の場合
RkImageWriter¥ForVista64¥RkImageWriter64.inf
7. ウィザード画面に従って、操作を進めます。
8. ハードウェアのインストール画面が表示されたら、[続行]ボタンをクリックします。

これでプリンタに「Raku2 ImageWriter」が追加されます。

ファイルの取り込み時、正常にデータが取り込まれない。

対象ファイルを作成したアプリケーションが起動されています。
アプリケーションを終了してからファイル取り込みしてください。

困ったときには ②

ファイルの取り込みに時間がかかる

ビューア画面で、次のいずれかの対処をしてください。

- [動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブの「解像度」を、低く設定してください（推奨値は 200dpi です）。
- [動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブの「色数」を、「モノクロ」にしてください。



楽² ライブラリ パーソナル
スタートアップガイド

P2WW-2560-01

発行日 2009年1月

発行責任 株式会社 PFU

-
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
 - 無断転載を禁じます。
 - 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。